

### 3 . 平成 27 年度厚生労働省 DPC 公開データに基づく救急医療およびがん医療の可視化ツールの作成

産業医科大学医学部公衆衛生学教室 松田晋哉

#### A. 研究目的

平成 15 年に特定機能病院等 82 施設を対象に開始された DPC 制度は、平成 27 年には約 1,580 施設がその対象となり、これに支払いを伴わない施設を加えると実に約 2,000 の病院が DPC の枠組みでデータを作成している。これは病床数で 50 万床以上に相当し、患者数ベースで 1,000 万件を超えるデータが集積されている。平成 26 年度からはさらにデータ提出加算等を算定している施設のデータも含まれることとなった。いわゆる急性期病院に関して言えば 90%以上の症例が DPC 調査で収集されていると考えられる。特に救急医療およびがんの急性期入院医療については DPC 調査対象施設がその 90%以上をカバーしていると推測され、これらのデータを用いることで二次医療圏単位での医療の在り方を検討することが可能である。そこで本研究では厚生労働省保険局医療課が公開している DPC データを加工し、エクセルによる可視化ツールとして提供することを試みた。

#### B. 研究方法

使用したデータは <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000150723.html> で公開されている DPC 導入の影響評価に関する調査・参考資料 2 のうち、(1)「予定・救急医療入院医療機関別 MDC 別集計」と(2)「疾患別・手術別集計(各 MDC)」である。公開データには二次医療圏情報がないため、これを付与したのち(1)表から全患者および救急車による入院患者、(2)表から MDC 別がん患者の数を全症例および手術症例に分けて集計した。なお、厚生労働省の公開データでは個人の特定が行われることを防止するために 10 例未満の場合は数値が示されていない。そこで本分析では便宜上 10 例未満のセルについては 0 として処理を行っている。また、集計はほぼ診療科に対応している MDC (主要診断群: Major Diagnosis Category) ごとに行っている (MDC については表 1 参照)。

#### C. 研究結果

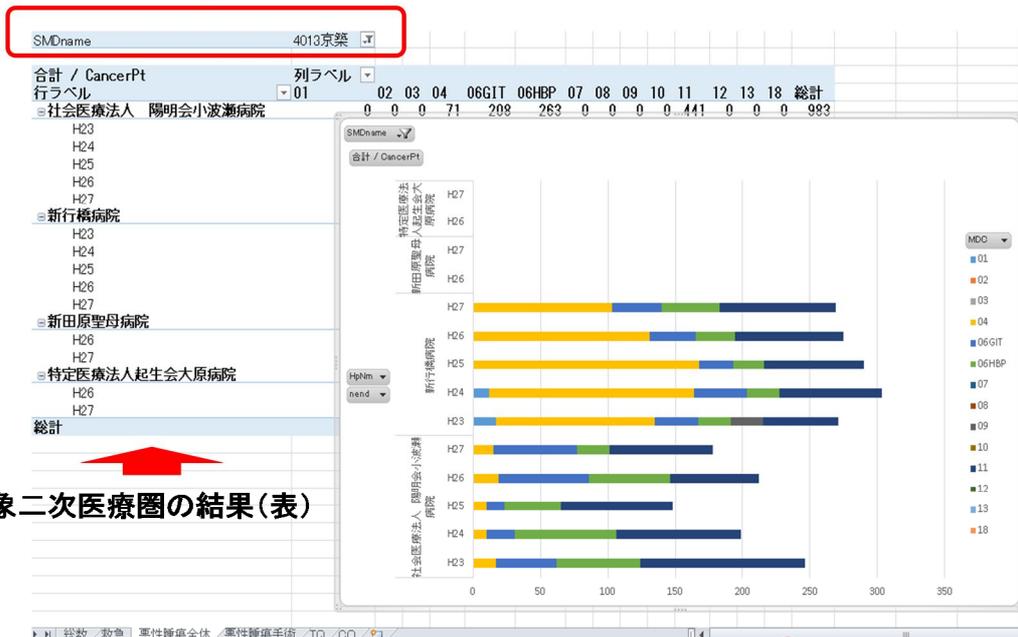
図 1 に条件選択画面を図示した。フィルターで二次医療圏を選択することで任意の医療圏について分析を行うことができる。フィルターで複数の医療圏を選択することも可能であり、例えば隣接する医療圏のデータを同時に分析することが可能である。このファイル (H27 全症例\_救急\_PIVOT 済.xlsx) では別のシート「救急患者」で同様の分析を行うことができる。また、がんについては「H27 がん\_PIVOT 済.xlsx」ファイルで同様の解析が可能である。

表1 主要診断群(MDC)の分類

主要診断群(MDC)	MDC日本語表記
01	神経系疾患
02	眼科系疾患
03	耳鼻咽喉科系疾患
04	呼吸器疾患
05	循環器系疾患
06	消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患
07	筋骨格系疾患
08	皮膚・皮下組織の疾患
09	乳房の疾患
10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患
11	腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患
12	女性生殖系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
13	血液・造血器・免疫臓器の疾患
14	新生児疾患、先天性奇形
15	小児疾患
16	外傷・熱傷・中毒
17	精神疾患
18	その他の疾患

図1 作成した Excel の Pivot table/graph の画面

二次医療圏の選択フィルター



対象二次医療圏の結果(表)

分析を行っているシート

(総数、救急、悪性腫瘍全体、悪性腫瘍手術)

対象二次医療圏の結果(グラフ)

#### D. 考察

厚生労働省が公開している DPC 調査対象病院の診療実績データは、救急およびがんの急性期入院に関する診療実績を施設名とともに公開している貴重なデータである。この領域の入院医療については、調査対象施設で我が国の急性期症例の大部分をカバーしていると推測されることから、本データは具体的な行動計画に結びつく医療計画策定を行う上で非常に重要なデータであると考えられる。このデータは毎年公開されていることから、医療計画に示された救急領域・がん領域に関する目標の進捗状況を経時的に評価する上でも貴重な情報である。関係者による積極的な活用が期待される。

#### E. 結論

厚生労働省が公開している DPC 調査対象病院の診療実績データを可視化するツールを MS-Excel の Pivot 機能を用いて作成した。このような加工を行うことで、医療計画策定担当者が DPC 公開データを活用することが可能になる。

#### F. 健康危険情報

特に関係なし。

#### G. 知的財産権の出願 なし

#### H. 利益相反 なし

#### I. 研究発表

特になし。